

裾野市の公共交通活性化に向けたバス利用促進に関する提言

- 1 多様な輸送手段（福祉輸送、スクールバス、施設送迎バス、自家用有償旅客運送等）について、それぞれの特徴を整理し、幹線や支線の役割分担など適材適所の交通手段の配置が可能となるよう整備を進めることが望ましい。
- 2 公共交通活性化協議会において、既存の公共交通機能の強化を図るべく、鉄道とバスの基幹機能維持と並行して、駅やバス停までの距離が遠い地理的交通弱者を救う即戦力となる既存タクシーの機能強化策の検討を早期に行うことが望ましい。
- 3 地域の移動ニーズや需要量を定期的に共有し、ルートや時間、輸送手段等を、状況に合わせ変更するといった、利用者の利便性向上のための仕組みづくりや改善ができるよう、様々な輸送事業者同士が、連携・協議できる場を創出することが望ましい。
- 4 地域自ら公共交通ネットワークをデザインできるように、住民や地域の関係者（企業や学校等）、交通事業者と一緒に路線改善などを話し合う協議の機会を創出することが望ましい。
- 5 通院や通学通勤、買い物といった生活基盤に基づく移動に加え、観光客の移動による活性化を視野に入れた、産業振興や観光振興等と連携した地域戦略としての、包括的な交通ネットワーク構築に取り組むことが望ましい。
- 6 将来を担う若年層を対象に、交通弱者の視点に立った公共交通の重要性を学ぶ機会や、積極的に公共交通機関を利用する機会などを創出・拡大し、持続可能な公共交通を地域が一体となって育む仕組みを構築することが望ましい。
- 7 高齢者の活躍促進、現役世代の副業、個人のスキルアップなど意欲ある住民の活用を視野に、市内自動車免許教習所やバス・タクシー事業者等と連携し、公共交通の要となる運転者の確保及び育成につながる仕組みを構築することが望ましい。
- 8 裾野市市長戦略部戦略推進課（公共交通所管部署）は、地域が一体となった公共交通ネットワーク共創のため、公共交通利用促進に関する各団体及びその所管部署と連携する積極的かつ横断的な調整を担うことが望ましい。
- 9 裾野市各部局は、所管する分野における公共交通の利用ニーズや利用促進に向けたアイデア収集に努め、戦略推進課と連携し公共交通を支える地域の関わりの醸成を図ることが望ましい。

バス利活用促進に関する提言書

【構成】

1. バスに乗ろう会 関係メンバー一覧
2. 活動の経緯
3. バス利活用に必要な視点の提言

及び代表的な意見・アイデア

<付属資料>

- ①. ワークショップの様子 (第1回～第3回)
- ②. 寄せられたバス利用促進アイデア一覧
- ③. ワークショップ参加者アンケートへの意見一覧

令和4年9月12日 バスに乗ろう会

1. バスに乗ろう会 関係メンバー一覧

(議員有志)

敬称略・50音順

浅田 基行
井出 悟
岩井 良枝
岡本 和枝
勝又 利裕
勝又 豊
賀茂 博美 (幹事 第1回ワークショップ担当)
木村 典由
小林 俊
佐野 利安 (幹事 第3回ワークショップ担当)
杉山 茂規 (幹事 第2回ワークショップ担当)
土屋 主久
土屋 秀明
内藤 法子
中村 純也 (代表幹事 会の招集、取りまとめ)
二ノ宮善明
増田 祐二 (幹事 広報担当)
三富美代子

(オブザーバー協力)

日本大学理工学部 教授 藤井様
富士急シティーバス (株) 本社営業所 川井所長
社会福祉法人 裾野市社会福祉協議会 柏木様
一般社団法人 マチテラス製作所 志田様
裾野市役所 市長戦略部 戦略推進課

(バス実態調査、ワークショップ、アンケート協力)

市内循環バス 乗務員
ワークショップ参加者 (延べ37名)
アイデア (商店会関係者様、観光協会関係者様、労働者福祉協議会様
青年会議所様、他多数の皆様)

2. 活動の経緯

地方のバスや鉄道といった「公共交通」の危機が全国で取り沙汰されている。過疎化による利用者の減少で“廃線”になるケースも少なくなく、地域やそこに暮らす人々にとって死活問題となっている。さらに当市では、旧5カ村の名残をそのままに、集落地での生活圏域が点在する中、自家用車に依存した移動手段が定着しているが、近年高齢者の運転免許返納を促す動きが強まっていることと相まって、自家用車を手放した途端“移動の足がなくなる”という実態が浮かび上がってきている。

こういった交通弱者に対し、当初裾野市中心市街地活性化のために市街地で導入していた市内循環バスその一を自主運行路線として活用してきたが、収支率の低迷から令和3年度の運行をもって廃止が決定した。

しかしながら、自家用車を持たない高齢者の移動手段の確保が危惧されたこともあり、国の支援策「サービス継続事業」の適用により公共交通として5年間の時限措置として民間運営による循環バスが運行され、現在運営されている。

全国で課題となっている地域公共交通の活性化及び再生について、国は法律改正も行い、持続可能な輸送サービスの提供の確保に取り組む体制整備を進めている。その中では、地域の交通を地域が自らデザインしていく必要性が挙げられ、地域の移動ニーズにきめ細やかに対応すべく、バス・タクシー等の公共交通機関をフル活用していく基本姿勢が示されている。

裾野市議会では、自力での交通手段を持たない交通弱者を念頭に、健康や生活の維持に寄与できる交通機能の必要性から「地域公共交通の維持・確保、多様な交通手段の構築に向けた支援制度の充実強化を求める意見書」を可決した。そして本年4月に議員有志でバス利活用促進に関する研究会となる「バスに乗ろう会」を発足し、当市の基盤公共交通機関の一つであるバスのフル活用を念頭においた、利用者目線による活用アイデアについて研究を行なった。

3回の市民ワークショップを通じて、地域や利用者のニーズに合わせた移動スタイルの構築の必要性が寄せられたほか、基幹移動手段であるバス利用促進のアイデアは238件寄せられた。

バスに乗ろう会では、これらの活動から得られた情報をもとに、市民が必要と考えている施策視点についてまとめ、今後の裾野市公共交通のあり方の一助として関係機関に提言いただきたく、裾野市議会に提出するものである。

3. バス利活用促進に必要な視点の提言

～寄せられた代表的な市民意見 (○)、アイデア (WS 発表■、話題●)～

1. 様々な交通手段それぞれの長所・短所を把握し、適材適所に配置することが必要

- バスの増便や維持も重要だが、福祉的発想の移動サービスの運用も必要ではないか。
- 交通難民がゼロとなる状態を第一に考えてほしい。
- バスの利用状況に合わせて、バスの小型化など柔軟に検討してほしいと思います。
- 全ての移動を公共交通機関で賄うことは困難。自宅からの移動は基本的に自家用車と考え、交通のハブとなる拠点として駐車場を整備し、パーク&バスライドを実現してはどうか。

2. バスが通らない不便地域の解消のため、既存タクシーの機能強化に力を注ぐことが必要

- 身体的な課題を抱えている方にとっては、バスよりもドア to ドアが可能な交通手段が求められている
- タクシー事業者まで撤退してしまうと本当に困ってしまう。生き残り策が必要なのはバスだけではない気がする。

3. 全体的な利便性を向上させるため、様々な移動サービスを行う事業者同士の連携が必要

- 駅に着いたときにその時間帯で乗れるバスがない。
- 買い物や通院の場合、帰宅する時間帯にバスがない現状がある。買い物や病院の「帰り」に焦点を絞ったアイデアを組み合わせることで、バス利用につながる
- バス等の位置情報や、ある「バス停」から目的地までの最適輸送手段、乗り継ぎルートなどを手軽に検索できる仕組み（アプリケーションなど）があると使いやすくなる。
- 公だからとか民間だからとかではなく、NPO 団体や自治会による身近な輸送サービス含め、交通弱者のためにそれぞれができることを提案・共有し進めることが大切ではないか。

4. 行政やバス事業者だけで考えるのではなく、利用者・関係者と一緒に考えることが必要

- 行政や事業者だけに頼るのではなく、地区でできることについて考える必要もある
- 鉄道路線の赤字のニュースを聞きました。人口減少の中での公共交通のあり方そのものについて自分達もよく考えないといけないと感じた。
- 通勤者のバス利用促進には、経営側の理解も必要。会社にとってのメリットを打ち出し、経営者・従業員の意識をマッチングできるような活動が必要 (Co2 減、通勤手当減、通勤用駐車場減など企業メリットを享受する)
- 通学での利用が少ない主原因は、不正確な時刻での運行にあり、その要因は自家用車送迎にあることを意識すべきです。渋滞の緩和→ 通学時間帯の車両減少→ 親送迎・通勤車両の削減
- バスの利便性を高める第一の課題は、決まった時間に乗れること。朝の渋滞解消にもつながるスクールバス導入について、関係者協力しあって導入してはどうでしょうか
(実証実験) 候補① 青葉台から (向田小学校)、東小学校経由、裾野駅。
候補② 千福が丘から富岡中学校経由、岩波駅 (裾野駅行きは路線バスあり)

5. 商店会や観光関係者と連携して、利用意欲を向上させる仕掛けを作ることが必要

- ポイント付与などお得な情報との組み合わせにより、現在バスを利用していない市民の方を取り込む工夫が必要です。商店等やバス双方にメリットが出るのではないのでしょうか。

○観光や通勤などの利用にバスが使われることで、事業者がプラス経営となり、交通弱者等に恩恵が戻る仕組みにつながると良い。

■パークアンドバスライドを実現できる駐車場を観光拠点（観光出発点）として整備し、そこを起点としたルートを設定するなどしてはどうか。（起点の商業化、観光マップの作成）

■土日祝日のバス運行を誘導できるまちぐるみの企画を考えると楽しくなる。

6. 将来の継続には、子どもの頃の体験や、若い人のアイデアの取り込みなど関係づくりが必要

○子供の頃にバス乗車の経験がないのに、大人になってから乗る意欲が出るとの考えは軽率

■平日の通学利用には、自家用車送迎を減らす親等の意識改革も必要。相乗効果は大きい。

■休日(週末)は、バス乗車体験の機会として、乗車無料日を業者が設定することも投資として必要。商店や観光業と連携して、この日に、親子乗車や友達同士での乗車を誘導するイベントを組むなど本人・家族が乗りたくなる、バスへの親しみを創出する仕組みを作る

7. どんな移動サービスでも運転手が要であり、その確保や育成の取り組みが必要

●地域で共助としての移動サービスを構築するとき運転手の確保が課題となるが、運転経験豊富な定年退職者の斡旋をしてはどうか。

●地域活動に距離感が出やすい現役世代の関わりの一つとして、輸送のボランティアや副業につながる仕組みを検討してはどうか。

8. 地域で公共交通を作り上げるためのまとめ役、調整役が必要

○行政は、バス単独で利用者促進を考えず、関係部署と協力して工夫することが必要。

○「福祉としての施策は別」とか「スクールバスは学校が考える」など縦割り行政の考え方をやめない限り公共交通維持は難しい。

9. 通勤や観光など目的にあったルート構築には、ターゲットを絞った調査や意見交換が必要

○いつもの目的以外にバスを利用することを考えたら楽しくなりもっと参加したくなりました。

○現役世代の市民参加が少なく、直接影響がある方の意見について気になりました。今は自家用車中心の生活をしている世代が、明日運転できなくなった時どうするかイメージできることも必要ですし、そのアイデアを聞いてみたいと思った。

○子どもがどうやったら乗ってくれるかは、子どもに聞いた方が良い。今回のようなワークショップを中学校や高校などで実施してはどうか。

○第三者だけでアイデアを出しても実現性に乏しい。観光なら観光関係者、買い物なら商業関係者、といった直接関係のある方と一緒に考える必要がある。

10. 議会はアイデアの実現に努めるため、政策討論・政策立案を活発実施することが必要

○出されたアイデアをどう実現するが、できるのかが重要。検討過程含めてオープンな状態を作ってほしいです。

○もっと市民参加を促して検討することが必要です。

○ワークショップをやりっぱなしにせず、施策にどう反映されたか情報公開してほしい。

○バスに乗ろう会のような活動を、具体的な施策をテーマに続けてほしい。

<付属資料>

①. ワークショップの様子

第1回 6月6日 (資料3枚) みんなで学ぼう!

第2回 7月7日 (資料2枚) 知恵を出しあおう!

第3回 7月28日 (資料2枚) アイデアを自慢しよう!

②. 寄せられたバス利用促進アイデア一覧 (分類グラフ&アイデア)

③. ワークショップ参加者アンケートへの意見一覧

バスを利用したまちづくりワークショップ

第1回みんなで学ぼう！活動報告

令和4年6月6日（月）13:30～15:30

裾野市役所 4階401会議室

開催の経緯と趣旨

- 裾野市の行財政構造改革から“すそのー”の廃止。
- R4.4より国の補助を受け5年間の期限付きで市内循環バスの運行を開始。
- バスの利用状況が増えなければ再び廃止
- 市議会では公共交通機関の維持・支援を求める意見書を国へ提出
- バスを利用してもらうための知恵を出し合おうと議員有志で「バスに乗ろう会」を発足
- 多くの方の知恵をお借りするためにワークショップを開催



趣旨説明



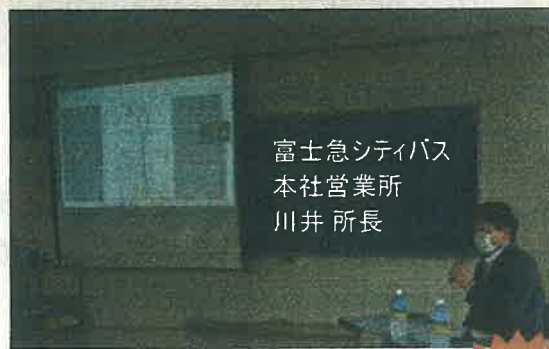
市長もお見えになったので
ご挨拶をいただきました。

バス事業者に聞く路線バスのあれこれ —富士急シティバス—



路線バスの時刻やルートは
どうやって決めているの？

- ✓ まずは長い時間走るバスを中心に考え、そこを繋ぐ枝線を考える。
- ✓ 時刻表は御殿場線に合わせ毎年改正。
- ✓ 赤字路線（須山線）は国の補助を受けているため、ご希望に合う増便ができない状況。
- ✓ 渋滞が都度変化し、時刻表通りに到着できずご迷惑をおかけする時もあり。
- ✓ 北部地域ではスクールバスも兼ねているため、登下校の時刻に合わせている。
- ✓ 運転手やお客さまの声、様々な要素を見込みながら時刻変更を行なっている。



富士急シティバス
本社営業所
川井 所長

お得なバスの乗り方



◆ シルバー定期
3ヶ月 10,290円で富士急グループ
の路線バスに乗り放題



◆ フリー切符
1,000円で一日富士急
シティバスの路線バス
（沼津、三島、裾野、長泉）
に乗り放題



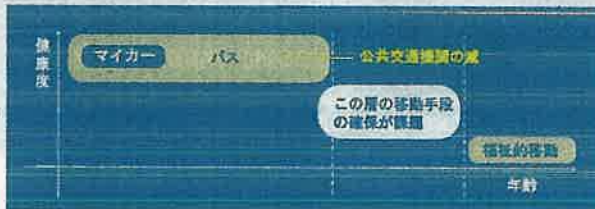
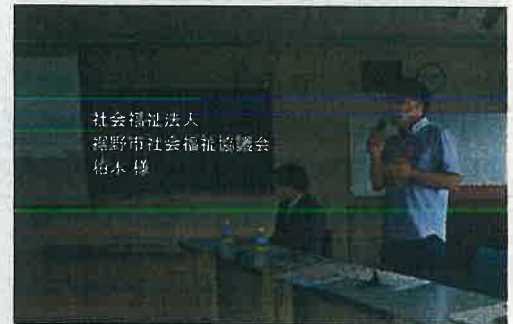
市内の福祉サービスによる移動手段 — 社会福祉協議会 —



	福祉有償運送	介護タクシー（介護保険適用）
車両	ナンバー（白色）	ナンバー（緑色）
運転手	普通免許 国土交通大臣が認定する講習の修了者	二種免許
料金	タクシー料金の概ね半分以下	運賃+介助料+福祉機器レンタル料
利用者	登録者	介護保険適用サービス

社会福祉協議会による福祉有償運送

- 運行範囲：市内を発地又は着地とする
- 使用車両：軽自動車2台（車いすスロープタイプ）
- 運転者：本会事務局職員5名
- 利用料金：距離制
初乗1Km：200円（以降1Km毎：100円加算）
- 利用時間：午前9時から午後5時まで
月曜日から金曜日（年末年始、祝日、車両点検日を除く）



福祉有償運送の利用者は
登録制であり限定的

↓
バスを利用していない方が利用の対象

市内の福祉サービスによる移動手段 — マチテラス製作所 —

事業を始めたきっかけは、
地域の声とニーズから

マチテラス製作所による福祉有償運送

- 会員：年会費 3,000円、月会費 500円
- 利用料金：1時間 1,000円、以降30分毎 500円
発地及び着地が市内以外の場合、総走行距離
1km毎に50円、市内無料
- 運転者：登録ボランティア（18名）



今後の課題

- 多くのニーズに答えられていない
福祉有償運送の対象外ではあるが、移動の手段が確保できない方への支援が不足している。
- 事業体制の強化
事業というより社会貢献の一環である。
事業継続、他社参入が難しい状況である。



全国の取り組み事例紹介

バスを利用しやすい環境、仕組みについて全国で取り組まれている参考事例を紹介

バスまち協力施設

利用者にバスの待合場所、待ち時間を快適に過ごしていただくため、バス停留所付近にある店舗、企業等を「バス待ち協力施設」として登録



バス車両ラッピング・装飾

路線バスの車内をこれでもか！と装飾。デコレーションバス（通称デコバス）SNS映えも抜群で、客もあり。



お得でエコなエコショッピング

公共交通を使って提携店で買い物や食事をすると優待サービスが受けられる制度。マイカー利用の削減で環境負荷の軽減にも効果あり。

交通ICカード（PiTaPa等）でのご利用方法



見やすいバス路線図

市内を運行している複数のバス路線図を集約し、中心街から放射状に形成されるバス路線を方面別のアルファベット記号と色で分け、わかりやすく工夫



協力者の日大理工学部 藤井教授より

- 裾野市の地域特性を考慮して、市民の足の確保をどうするのか？を考えていく必要がある。
- 市民の方の困りごとをしっかりと把握して、ニーズにあった手法を考えていくべき。小さな単位での移動手段を組み合わせる方法もあるのでは。
- 身の丈にあった移動手段を考える必要がある。
- 議会、市民、行政と一緒に考えていくことは、とても重要である。



バスを利用したまちづくりワークショップ

～第2回 知恵を出し合おう！ 活動報告～

令和4年7月7日（木）13:30～15:30
裾野市役所 5階 第1委員会室、第2委員会室、議場

第2回では、

『バスに乗りたくなる』、『バスが楽しくなる』、『バスを使いたくなる』、

インスタ映えする豪華なデコレーション



快適なバスの待ち環境



広告付バス停
屋根付停留所
ベンチの設置

バスの乗車がお得に



商店街の協力で
2,000円以上買うと
運賃が割引に！

バス応援会員



会員になると、
通常では受けられない
お得なサービスが！

環境負荷の軽減に貢献



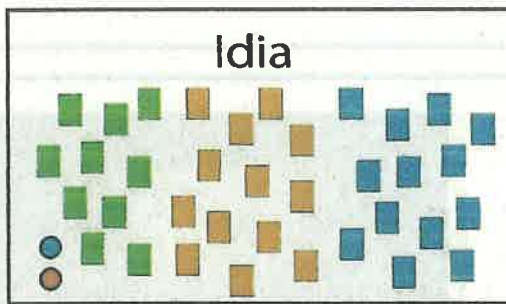
自家用車から
公共交通への利用転換
=CO2削減！

バスの路線図をわかりやすく

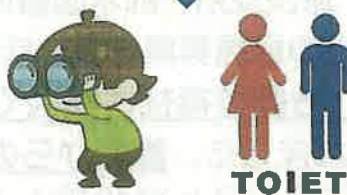


広域な地図
路線や会社が違うけど
一つの地図に
一目瞭然

このようなバスの利用に繋がる知恵を出しあいました。



皆で色々なアイデアをひねり出し



トイレを兼ねて、他グループへの偵察タイム

再度の検討が行われ

その結果、沢山のアイデアが
ひねり出されました

第1グループ 38個

第2グループ 34個

第3グループ 21個

第4グループ 19個

計112個のアイデア！

グループごとの発表タイムでは、こんな意見が出されました。



第1グループ

大事なのは新たな需要(観光)、若い方が乗ること
鎌倉殿を下和田の看板と結び付ける
土日にバスを走らせYoutuberに発信してもらう
バスに乗ることを目的としてもらう

第2グループ

問題は利便性にあるのではないか
フリー乗車(バス停じゃなくても乗り降り可)
料金の定額制で利用客を増やす



第3グループ

重要なのはバスダイヤ(時刻表)
電車との接続やバスの停車と発車の連結
各地域のモデルケース(利用法)やイベントや
観光名所(中央公園やウーブン)とのアクセス



第4グループ

自由降車、バス停ウォーキングコース
親しみやすさとして愛称をつける
外装を画家に書いてもらうアートバス



当日参加出来ない方のため、須山支所、富岡支所、深良支所、鈴木図書館や、オンラインでもアイデアを募集。加えて、様々な団体への意見募集も行いました！

その結果、深良支所で2個、富岡支所で25個、労働者福祉協議会で15個、インターネット受付で13個のアイデアが応募されました。議員からのアイデアの71個を加えると 合計で、238個のアイデアとなりました。

これらのアイデアを第3回WSに繋いでいきます！

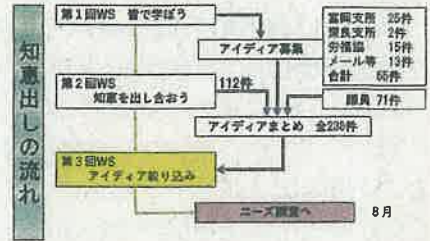
バスを利用したまちづくりワークショップ

～第3回 アイデアを自慢しよう 活動報告～

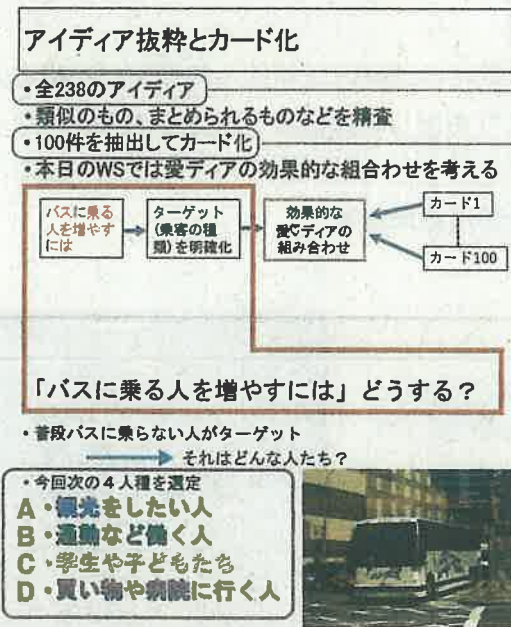
【日時】 令和4年7月28日(木) 13:30～15:30

【場所】 裾野市役所 4階

【目的】 これまでのワークショップ等で出たいアイデアを絞り込む(右図の位置づけ)



【第3回ワークショップまでの流れ】



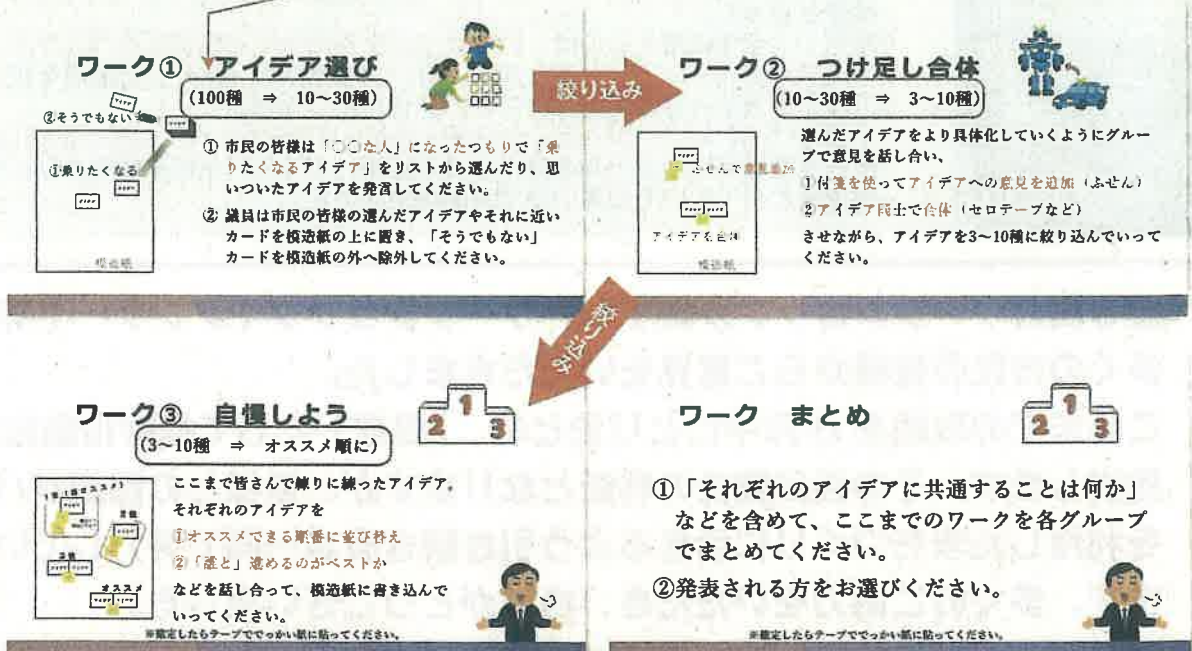
ジャンル	件数
お得	30
社会貢献	2
コラボ	30
バスダイヤ	26
バブルート	26
バスマップ	2
バス車両	50
バス停	47
運転手	2
添乗員	5
その他	18
合計	238

絞り込み

ジャンル	件数
お得	12
社会貢献	2
コラボ	14
バスダイヤ	7
バブルート	8
バス車両	20
バス停	23
運転手	2
添乗員	2
その他	10
合計	100

抜粋アイデア

【第3回ワークショップの手法】



【各グループのワークショップ結果】

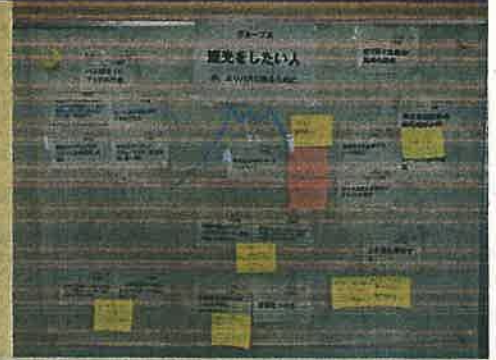
普段バスに乗らない人が、よりバスに乗るために

グループA 観光したい人

点在する観光拠点に対して、出発点となるような拠点が無い。
また来裾者は、自家用車が多い。

観光出発点となりうる駐車場を設置し、パーク&バスライドでの観光スタイルを構築する案が導き出された。この拠点を発着点とするモデルルート、観光マップを作成することでバス利用につながるアイデアが組み合わされた。

(利便性・運行本数・土日祝の運行)



グループB 通勤など働く人

会社の指示等があるとバス利用への誘導は可能。経営側の理解も必要。

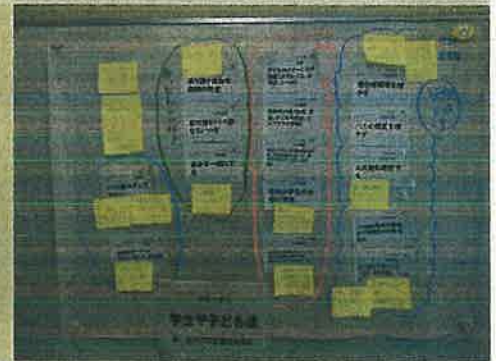
会社にとってのメリットを打ち出し、経営者・従業員の意識をマッチングできるような活動、企業や事業者とのコラボレートが重要である。

(Co2 減、通勤手当減、通勤用駐車場減)

グループC 学生や子ども達

平日は、通学としての利用促進（自家用車の意識改革が必要）。
休日は「本人が乗りたくなる仕掛け」「バス乗車の体験の機会」が必要である。

通学の利用減少の主原因は、不正確な時刻での運行であり、これを改善することで、渋滞の緩和→通学時間帯の車両の減少→親送迎・通勤車両の削減になる。休日（週末）は、バス乗車体験の機会として、乗車無料日を業者が設定することも投資して必要。この日に、親子乗車や友達同士での乗車を誘導するイベントを組み、バスへの親しみを週末にみんなで取り組む。



グループD 買いものや病院に行く人

新規利用者増につながるアイデアの前に現利用状況に対する課題が中心の話題となった。

ただし、全体に言えるのは、いずれの場合も帰宅する時間帯にバスがないことに課題感を持っていたことから、買い物や病院の「帰り」に焦点を絞ったアイデアを組み合わせることで、バス利用につながる。

例えば 12 時半、16 時に中心市街地から郊外に向けて一斉に発車する調整。その直前に商店がセールを集中させる仕掛けづくり（午前診療終わり、午後診療終わりについて買い物で時間調整を想定）

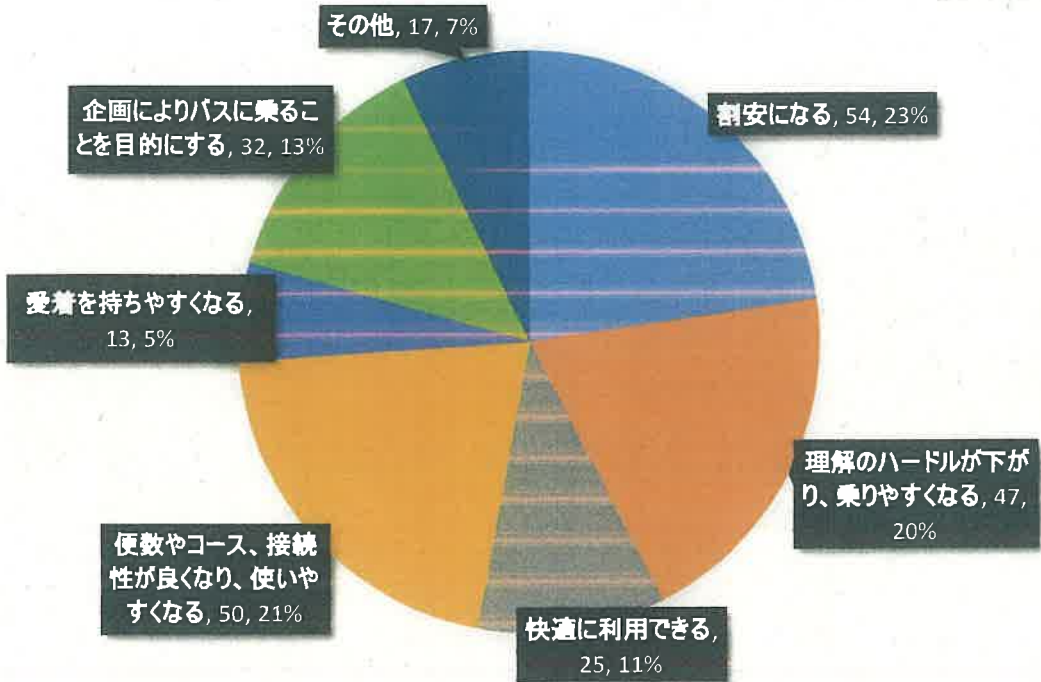
全3回のワークショップが終了し、ワークショップやアンケート等で、多くの市民の皆様からご意見をいただきました。

これまでの取組を8月中にとりまとめ、「提言」として裾野市議会に提出します。その後は議会の判断となりますが、皆様との協議がバスを利用したまちづくりに生きるよう引き続き有志一同で努力していきます。多くのご協力をいただき、ありがとうございました。

バスを活用したまちづくりワークショップ 第2回 知恵を出し合おう

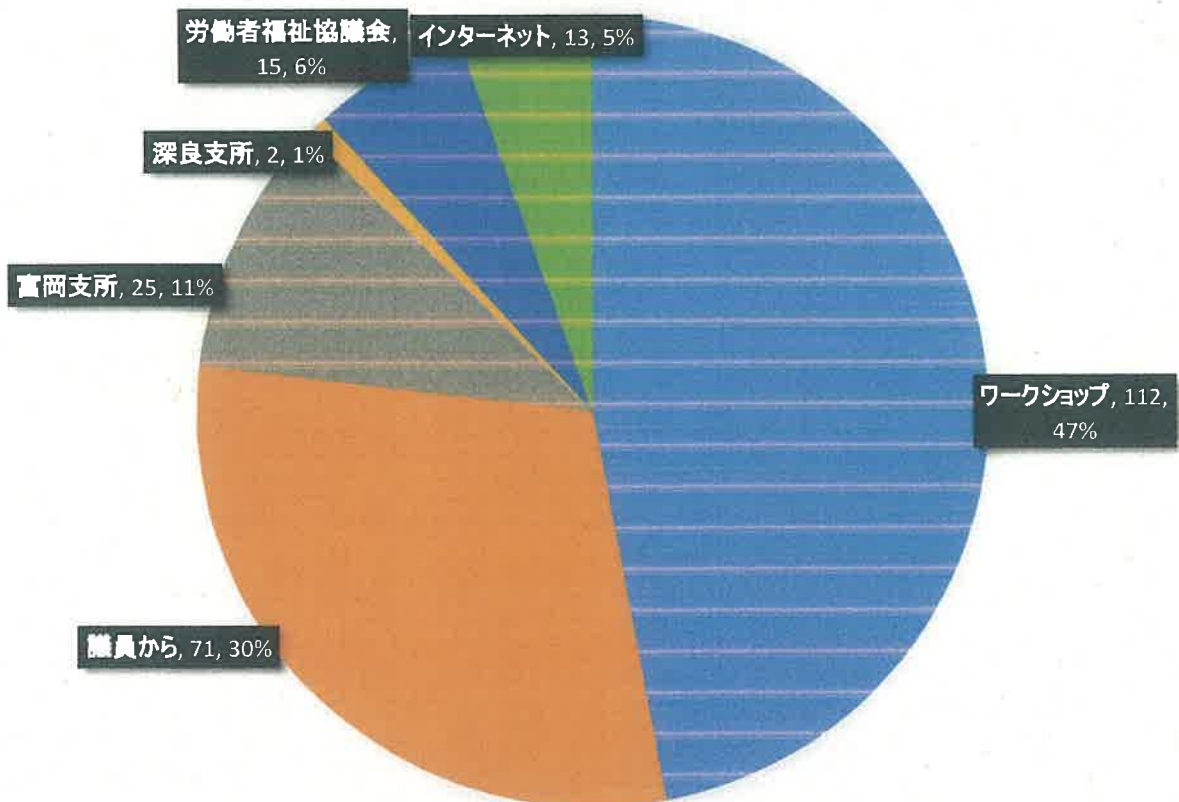
アイデア別割合

N=238



募集窓口別割合

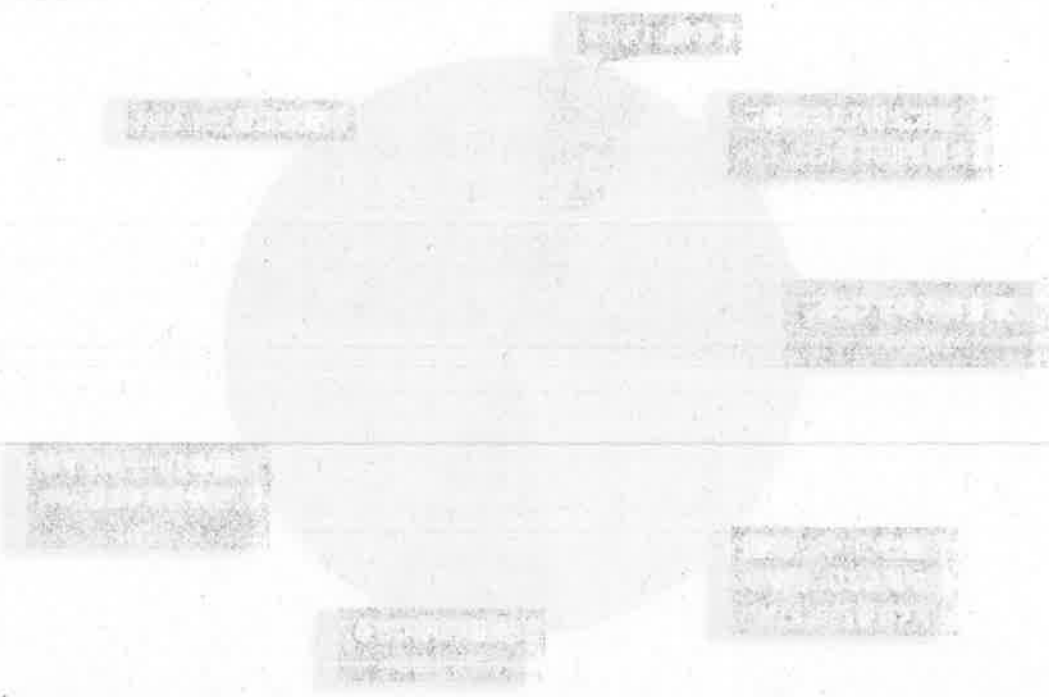
N=238



株式会社出雲嘉映 国産薬 びびーのり と さきん 用 液 剤

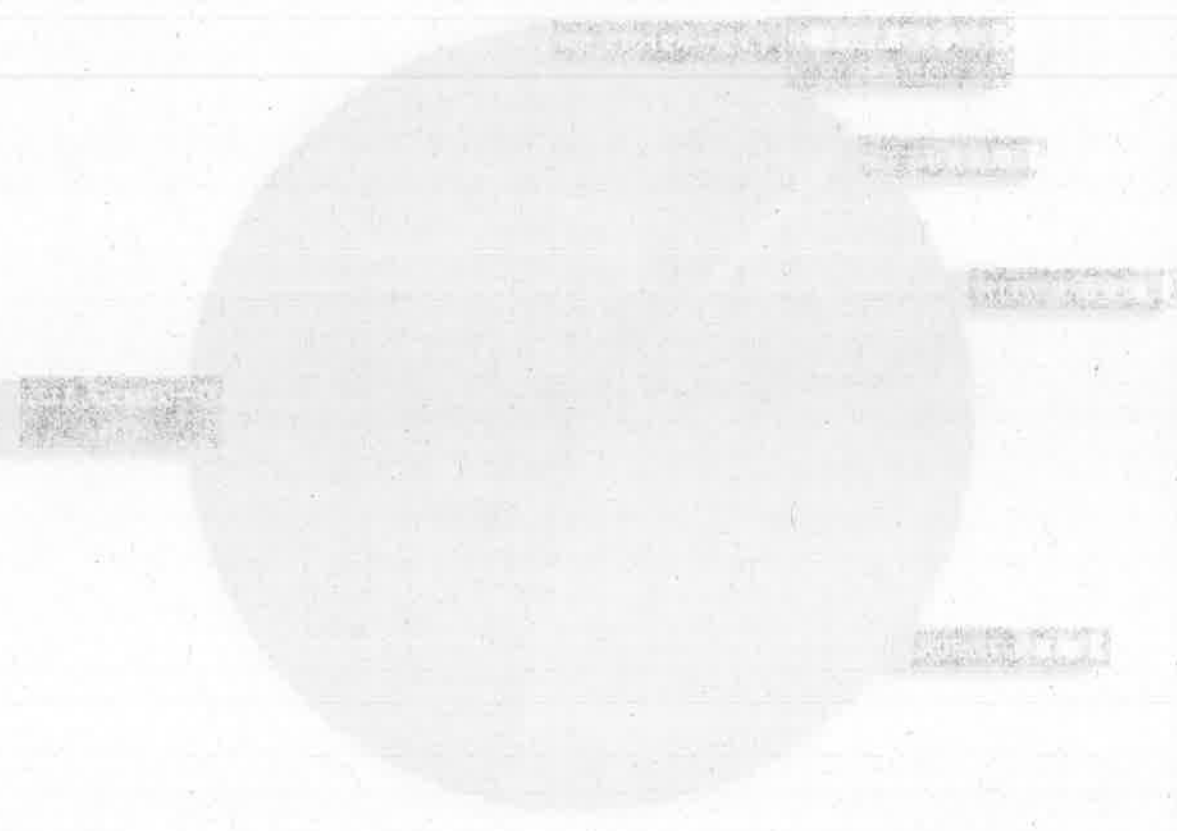
0825-11

合 成 薬 剤 行 社



0825-11

合 成 薬 剤 行 社



バスを活用したまちづくりワークショップ 第2回 知恵を出し合おう アイデア一覧

No	活用物(大)	活用物(詳)	仕組み	特徴	関係者
1	お得	クーポン	クーポン券の発行で利用者の増	バス利用者の増加・商業振興	商工会・商店街・バス事業者
2	お得	バス利用券	市内商店で一定金額以上の買い物をした場合、バス復路の利用料一部を割引する	商店が費用の一部を負担	バス事業者、商店
3	コラボ	割引	商店街のバス割引	商店会での買い物により割引券を出す	商店会
4	コラボ	割引	商店街でバス割引券の発行	商店会での買い物により割引券を出す	商店会
5	コラボ	割引	商店街での一定金額以上の買い物により帰りのバス代無料サービス	商店会での買い物によりバス乗車券を発行	商店会
6	コラボ	割引	商店街の協力で2000円以上買うと運賃割引	売上アップ、知って貰う切っ掛け	バス事業者、商店
7	コラボ	ポイントの活用	マイレージサービス	商店会での買い物によりマイレージサービス	商店会
8	お得	ポイントの活用	商店割引	市内商工を知る機会にもする	商店他各種団体
9	コラボ	割引	商店街のバス割引	商店会での買い物により割引券を出す	商店会
10	バス車両	回数	乗車回数に応じたポイント付与と割引(QRでも可)	お得感の演出	バス事業者
11	コラボ	割引	商店街でバス割引券の発行	商店会での買い物により割引券を出す	商店会
12	コラボ	割引	商店街での一定金額以上の買い物により帰りのバス代無料サービス	商店会での買い物によりバス乗車券を発行	商店会
13	お得	ポイントの活用	抽選券配布		商店会
14	お得	ポイントの活用	一回乗車無料券		バス事業者
15	お得	ポイントの活用	温泉入湯券		温泉業者
16	お得	ポイントの活用	乗車ポイント制度		バス事業者
17	お得	会員権	バス応援会員を作り、会員になることで受けられる、お得なサービスをつくる(ポイントなど?)	お得、愛着(守っているんだと言う意識)、バスの乗車を目的化	バス事業者
18	お得	回数券	回数券の販売箇所の増設、10回に1回プラスなど	商店会等での回数券販売によりお店への立ち寄り	商店会、事業所、
19	コラボ	お得・利用者サービス	会員限定への買い物カート無料貸し出し(バスに積んでおく)	買い物カートの無料貸し出し	バス事業者・商店会
20	お得	回数券	回数券販売箇所を増やす	利便性の向上	行政
21	お得	割引	市内限定定期券	お得さ	バス事業者
22	お得	割引	乗車500回祝品		バス事業者、商店
23	お得	割引	雨の日利用の割引制度を導入	バス利用者の増加	バス事業者・市

バスを活用したまちづくりワークショップ 第2回 知恵を出し合おう アイデア一覧

No	活用物(大)	活用物(詳)	仕組み	特徴	関係者
24	お得	割引	お誕生日割引、無料優待	特別な日	バス事業者・商店会
25	お得	割引	バス利用者懸賞(くじ)		バス事業者・商店会
26	お得	割引	公共交通利用料金を市税から控除		バス事業者、自治体
27	お得	定期券	カーボンニュートラル定期(脱車両通勤わり)	環境施策	バス事業者、企業、事業所
28	社会貢献	CO2削減	自家用車から公共交通への利用転換でCO2削減、ポイントがあるともっと良い	環境保護、カーボンニュートラル、バスの乗車を目的化	バス事業者、企業、市民、行政
29	お得	定期券	0と5のつく年定期(20歳、25歳、...)	お得	バス事業者
30	お得	利便性向上	バス・タクシー券の増額と利用のしやすさ	利便性の向上	行政
31	お得	料金	同じバス停から友達と3人乗車で同一バス停で下車の場合、料金1人分割引	バス利用者の増加	バス事業者・商店街・行政・利用者
32	コラボ	●●の日ツアー	さわやかウォーク(地域ガイド付き)	地域おこし	観光協会、ボランティア協会
33	コラボ	●●の日ツアー	おすすめ1日観光ルート(地域ガイド付き)	地域おこし	観光協会、ボランティア協会
34	バスルート	●●の日ツアー	買い物ツアーバス(岩波駅→裾野駅→納米里駅→サントムーン→三島駅→裾野駅→岩波駅)	買い物に自由に行けるツアーバス	バス事業者
35	バスルート	●●の日ツアー	郷土を知るバスツアー、富士山スポットを巡るツアー	地域学習への利用、市内観光地化	生涯学習センター、イベント会社
36	バスルート	地域学習	市内観光地・景勝地・聖地巡り	おもてなし、ツアー化、愛着、PR	バス事業者、観光協会、市民団体
37	コラボ	健康	健康ウォーキングとのタイアップ	バスに乗って健康になろう!	バス事業者・民間企業・JR
38	コラボ	健康	女性をターゲットにしたウォーキングコース、歴史探訪、買い物	女性の利用促進	バス事業者
39	バス停留所	新たな需要	バス停を利用したウォーキングコース作成	バス利用と健康維持のコラボ	行政
40	コラボ	アイドル	沼津市xラブライズなら、裾野市xラブライズや、裾野市xももクロなどの楽しくなるイベントの実施。	全国から人が来る	バス事業者、タレント事務所
41	コラボ	名称	インスタでハッシュタグをつけ市内バス停をアップし紹介するイベント	バス停名では解りにくいための紹介イベント	バス事業者
42	コラボ	お得	バス停のスタンプラリー	バスに乗ってお得感	バス事業者・商店会・民間企業・大型店舗
43	コラボ	お得	ゆかたDay 無料サービス	夏場向けのイベントで盛り上がり!	バス事業者
44	コラボ	割引	飲食店との連携で、バスチケット付き(お得な)食事プランの提案(予約の手間軽減)	お得、手間の軽減、プラン化商店の知名度アップ	バス事業者、飲食店
45	コラボ	商店街	商店会とのコラボでは、バス市内に「売り出しチラシ」(お盆・年末)を貼ってもらい『商品のビニール詰め合大っせ会』(期間限定)を実施する。	お得感	バス事業者、商店街
46	コラボ	割引	商店会でのビニール袋詰め売り出し	商店会イベント会場にて実施	商店会

No	活用物(大)	活用物(詳)	仕組み	特徴	関係者
47	コラボ	割引	飲み屋のシャトルバスとして利用	車両の空き時間活用	バス事業者・商店会
48	コラボ	割引	飲み屋で公共交通割引		バス事業者・商店会
49	コラボ	割引	バス車内にしかない割引券	オンリーワン	バス事業者・商店会
50	コラボ	割引	買い物後の荷物運び代行(高齢者が大変だとのこと)	荷物運び	バス事業者・商店会
51	コラボ	情報発信	若い需要の創出(地元の人気You Tuberとコラボ)	若者が乗りたくなる工夫	バス事業者
52	コラボ	新たな需要	民間企業との利用促進コラボ		バス事業者・民間企業
53	コラボ	新たな需要	ゴルフカートのようなバスを多数走らせる	楽しく乗りたくなるバス	バス事業者
54	コラボ	地域学習	市民活動センター、生涯学習等の講座とのコラボ	地域を知る講座とバスをセットで	バス事業者、行政、市民活動センター等
55	その他	わかりやすさ	バス運行ルートを網羅した名所・旧跡など観光ルート案内パンフレットを発行、公共交通事業者・旅行会社が裾野観光チケットを発行しお得な「すその観光」をpr。(ツアーガイド募集しガイドさんは無料乗車)	観光振興・いきがい・観光振興・商業振興	バス事業者、旅行者、観光協会、市民団体、市民、商店、地域団体
56	その他	わかりやすさ	グーグルの道のり検索のように、出発地と目的地を入力するとどのバス停で乗り降りすると良いかの情報が出る。(グーグルなどとの連携?)	分かりやすさ、乗車ハードルの低減、Maas	バス事業者、google
57	その他	観光地の賑わい創出	バスルートで巡れる市内の観光名所で、おもてなしなどで店を出店、地域のみなさんの生きがい創出、観光客の満足度アップ。	地域力アップ・いきがい・地域の活性化・観光局の満足度アップ	地域団体・市民・行政・公共交通事業者・商店・ボランティア
58	その他	新たな需要	子どもの交通安全教室、バスの乗り方	きっかけづくり、愛着	バス事業者
59	その他	新たな需要	市内に駐車、バスで三島駅(三島駅でP借りるよりトータルで安くなる)	パークアンドライド	バス事業者
60	その他	途中下車	バス停以外でも降りられる制度	利便性向上	バス事業者
61	その他	途中下車	バス停以外でも、ピンポンで、安全確認の上停車し降車できるサービス	利用者の利便性向上によりバス利用者の増加	バス事業者・警察・行政
62	その他	途中下車	路線上ならどこでも昇降可(自由昇降)	自由にバスに乗り、降りることが可能	バス事業者
63	その他	途中下車	自由乗降できる区間をつくる	利便性向上。許可できる場所の条件が課題	バス事業者

No	活用物(大)	活用物(詳)	仕組み	特徴	関係者
64	その他	目標物作成	マンホール女子を市街から呼び込むために、市内マンホール巡りを開催する。(それ以前に、マンホールの蓋に「すそのイラスト」ばかりでなくわくわくするような蓋を多くしなければなりませんけどね・・・ももクロマンホールもいいね!)	マンホールが目的地化する	行政、タレント事務所
65	その他	利便性向上	料金一律、先払い	利便性の向上	バス事業者
66	その他	利便性向上	一律料金制(会計の手間を省く、乗り降りが自由になる)	利便性	バス事業者
67	コラボ	割引	市内循環100円均一バス(商店会での買い物により発券)	どこで降りようとも100円均一	バス事業者・商店会
68	その他	利便性向上	市の職員がバスを利用することで、利便性をチェックし、利便性向上につなげる。	利便性の向上・バス利用者の増加	市・バス事業者
69	バスダイヤ	ダイヤ	バス運行時刻の再検討で利用者の利便性向上	バス利用者の増加	バス事業者
70	バスダイヤ	モデル	各地域ごとのバス利用モデルケース・モデルプランを提案	利便性向上・バス利用者の増加	市・議会提案
71	バスルート	モデル	裾野赤十字病院へ通院しやすいバスルートを検討してほしい。	通院への利便性向上とバス利用者増	バス事業者・市
72	バスルート	モデル	多くの市民が中央公園を利用できるようなバスルートを検討する。	バス利用者の増加と公園利用者の利便性向上	バス事業者・観光協会・市
73	バスダイヤ	時間帯の変更	夜間バスを運行。23時頃の便を走らせる。	飲み会で利用、飲みに行き帰ってこれる	バス事業者、飲食店
74	バスダイヤ	時間帯の変更	通勤通学に利用するための6時から22時までの運行	通勤通学者向けバスの運行	バス事業者
75	バスダイヤ	時間帯変更	朝早い時間のバスがあると小・中学生が利用しやすくなる。	小・中学生の通学の利便性向上	バス事業者・市・教育委員会
76	バスダイヤ	新規	土日の運行	休日移動の保障	バス事業者
77	バスダイヤ	新規	土日の運行(2)	要望	バス事業者
78	バスダイヤ	新規	土日の運行(買い物は休日)		バス事業者、自治体
79	バスダイヤ	新規	休日(土・日)のバス運行による利用者の増加	バス利用者の増加	バス事業者
80	バスダイヤ	頻度	バスの便数を増やす	利便性向上・バス利用者の増加	バス事業者
81	バスダイヤ	頻度	バスの運行本数の増加が必要	バス利用者の増加	バス事業者
82	バスダイヤ	頻度	30分に1本の運行でバス利用者の利便性向上	バス利用者の増加	バス事業者
83	バスダイヤ	接続	電車とバスの接続を良くする。	利便性の向上	JR・バス事業者
84	バスルート	接続	新幹線の発着に合わせた運行	利便性向上	バス事業者

No	活用物(大)	活用物(詳)	仕組み	特徴	関係者
85	バスダイヤ	接続	バスとバスの接続を良くする。	利便性の向上	バス事業者
86	バスダイヤ	連携	イベントの再開とPRでバス利用お増加を図る。	利便性向上・バス利用者の増加	バス事業者
87	バスダイヤ	連携	イベント会場や観光名所へのバス停の新設	利便性向上・バス利用者の増加	バス事業者
88	バスダイヤ	連携	イベントに合わせたバス増便	集客につながる	バス事業者、イベント会社
89	コラボ	ぶらり途中下車ツアー	裾野おんぱくプラン	地域おこし	観光協会、ボランティア協会
90	バスルート	バスマップ	バスの乗り継ぎ等が明確となるバスマップ、地域資源も	観光、生涯学習としての利用	市民
91	バスルート	ルート変更	新路線の拡大(裾野⇄箱根町)	裾野・箱根間がバスで繋がると嬉しい	バス事業者
92	バスルート	ルート変更	縦横無尽なバス路線	乗りたいときにいつでも乗れる	バス事業者
93	バスルート	ルート変更	青葉台から直に駅に行くバスが欲しい	買い物・病院・御殿場線への接続等	バス事業者
94	バスルート	ルート変更	裾野駅拠点のバスと岩波駅拠点のバスを分離して小回りを利かせる	小回りの利くバス路線変更	バス事業者
95	バスルート	ルート変更	通勤・通学と買い物通院を分離(バスも?)		バス事業者
96	バスルート	ルート変更	市内循環ではなく、市外の他拠点との連携(他の病院や商店)	他拠点との連携	バス事業者、自治体
97	バスルート	新規	路線バスを廃止して市がマイクロバスを運行させる。	利便性向上・バス利用者の増加	市
98	バスルート	新規	路線バスが走らないルートを市がワゴン車を運行する。	利便性向上・バス利用者の増加	市
99	バスルート	新規	便利に走り回るワゴン車を、各地区に運行する。	利便性向上・バス利用者の増加	市
100	バス車両	アナウンス	沿道紹介(広告)、景勝地紹介	おもてなし	バス事業者
101	バス車両	アナウンス	現在行われている各小学校1年生の「交通安全キャンペーン」での朗読を各地区ごとに流す。	郷土愛	バス事業者、学校
102	バス車両	アナウンス	小学校エリアでの小1年生による交通安全キャンペーンの呼びかけテープを流す	現在、朝の広報で実施中の交通安全のアナウンス	バス事業者・市内小学校
103	バス車両	アナウンス	マニアックな曲を流す	バス内での曲の放送	バス事業者
104	バス車両	アナウンス	バス停案内で商店や商品の広告	広告収入	バス事業者
105	バス車両	スペース活用	バスの後ろに自転車に乗せられるようにする	空きスペースの活用	バス事業者
106	バス車両	外観	バスのラッピング	見ただけで楽しく乗りたくなる	バス事業者
107	バス車両	外観	ラッピングバスにする	他のバス路線との差別化	デザイナー
108	バス車両	外観	外装を画家に描いてもらう	アート作品が走る、アートなまちを演出	画家

No	活用物(大)	活用物(詳)	仕組み	特徴	関係者
109	バス車両	外観	バスの外壁をキャンパスにしてアート作品を紹介。街中をアート作品が走るアートのまちを演出する。	インスタ映え、バスに出会えると幸せになる	画家など、バス事業者
110	バス車両	外観	各ジャンルのファン向けラッピングによる、観光客の集客	愛着、収益向上	バス事業者、著作権管理会社
111	バス車両	外観	広告ラッピング運営費の補填		バス事業者
112	バス車両	掲示	商店・企業に広告を出して頂き、バス料金を下げる。	企業、市民にメリットがある	企業
113	バス車両	経済性	小型バス採用	乗客が少ないので小型化して料金を下げる	バス事業者
114	バス車両	交通ICカード	降車時の渋滞緩和のため、交通ICカード割引	お得感の演出、混雑の緩和	バス事業者
115	バス車両	車体	地域のイベントで「働く車」の一つとしてバスを展示。乗り方教室や運転席乗車、など体験会を開く	愛着	バス事業者、地域団体
116	バス車両	車内	田舎の駅舎にメッセージを書くノートが置いてあるが、そのようなノートを置く。	愛着、意見の集約、楽しみ	バス事業者
117	バス車両	車内	インスタ映えする豪華なデコレーション	バスの乗車を目的化	バス事業者、
118	バス車両	車内	季節に応じた飾り付け	インスタ映え	バス事業者、地域の子どもたち?
119	バス車両	車内	アイドルやアニメのフォトフレーム	車内が楽しくなるよう	バス事業者
120	バス車両	車内	モモクロフォトフレームなどを設置	バスの乗車を目的化	バス事業者、コラボ事業者
121	バス車両	車内	マッサージ機つきシート	癒しのバス	バス事業者
122	バス車両	車内	健康チェックバス	乗車中に保健師等による健康のチェック	行政の保健師
123	バス車両	車内	カフェバス、野菜販売バス	車内販売	商店会、農業者、事業者等
124	バス車両	車内	テレビが見られる	バス内でのテレビ放映	バス事業者
125	バス車両	車内	市内小学生の合唱VTR等	合唱VTRを車内で流す	バス事業者・市内小学校
126	バス車両	車内	有料広告掲示板(モニター宣伝)	収益向上	バス事業者、事業者
127	バス車両	車内	車内での小中学生の絵画、書道等の作品展	絵画展・作品店等で車内が楽しくなる	バス事業者・市内小中学校
128	バス車両	車内	バスの中に子どもの絵、作品を展示	愛着醸成	バス事業者
129	バス車両	車内	ドラマのロケで活用(伊豆箱根のハートの吊り革)		バス事業者
130	バス車両	車内	移動展示場としての活用(小学生、シニアクラブ作品とか)	地域の子を知る機会 間接的なコミュニケーション	バス事業者、地域、幼稚園・小学校、各種団体
131	バス車両	車内	バスロケ	愛着、バスを目的の地化	バス事業者、自治体
132	バス車両	車内	バスの応援メッセージコーナー(バスありがとう)	バスのファンを増やす	バス事業者
133	バス車両	車内	バス利用者紹介コーナー	バス名人、ランキングでメダル授与	バス事業者

No	活用物(大)	活用物(詳)	仕組み	特徴	関係者
134	バス車両	名称	すその一のような名前をつける	親しみやすくなる	行政
135	バス停留所	データ利活用	乗降客の多い路線、スマホビッグデータからの移動客を把握し、バス停を増やす	利便性の向上、データ利活用	バス事業者
136	バス停留所	位置	乗降客の多い路線上にバス停を増やす	利便性の向上による利用者増、乗降客数、モバイル動態統計	バス事業者
137	その他	新たな需要	バス利用者のアンケート調査	実態把握	バス事業者
138	バス停留所	わかりやすさ	バスのいる位置のわかるアプリのQRコードをバス停に	バスがいつ来るかわかる	バス事業者
139	バス停留所	わかりやすさ	行き先で乗降するバス停がどこか分かるガイドブック作成	分野別であいうえお順で示す。広告料で賄う	行政
140	バス停留所	わかりやすさ	バス停を分かりやすく	ベンチの設置などをする	場所の提供など地域の協力
141	バス停留所	位置	待機スペースが確保できる場所への設置	路側帯での乗り降りの危険回避(安心の確保)	バス事業者、地権者
142	バス停留所	位置	道路ではなく、商業施設(スーパー)の正面入り口や、病院・福祉施設の正面玄関へバスの乗り入れとバス停(ベンチ)の設置	「自分で買いたい物がある」、「一人で通院できる」というニーズに応えるとともに、利用者の増加にもつながる	バス事業者、商店、医院
143	バス停留所	位置	家の前がバス停ならいいな	歩かずにバスに乗れる(足の悪い方)	バス事業者・地権者
144	バス停留所	快適性	バス停と椅子をセットに	年配の方が座って待てるように	バス事業者、道路管理者
145	バス停留所	快適性	バス待ちでの雨風をしのぐ空き店舗活用・及び「お茶出しサービス」の提供。	利便性、店に入るハードルが下がる	バス事業者、商店街
146	バス停留所	快適性	待合所の充実	バス利用環境の向上	バス事業者・市
147	バス停留所	快適性	バス停の安全確保		バス事業者、自治体
148	バス停留所	形状	雨風対策に屋根を付ける(3)	停留所の形状変え	バス事業者
149	バス停留所	掲示	広告付きバス停、屋根付き停留所、ベンチ設置	快適性向上、財源の確保	バス事業者
150	バス停留所	掲示	バス停への広告募集でバス停屋根設置	バス利用環境の向上	バス事業者・市
151	バス停留所	形状	置き型の停留所は歩行帯を狭くするため、壁やフェンスに取り付けられる経緯状に変更してはどうか	待機スペースの確保	バス事業者、地権者
152	バス停留所	掲示	バス停広告の導入	収益向上	バス事業者、観光協会、商店会
153	バス停留所	掲示	特殊な形状のバス停(すそのんバス停)にして、唯一の存在のバス停にする。(ファン的心をつかむ)	地域のPR、バス停の目的地化	バス事業者、地区、市民団体
154	バス停留所	形状	一番上の部分をいろんな形にしてみてもどうか(例えば色々なすそのん。集めるとポイント)	バス停めぐりにもつながる。SNS等によるスポット	バス事業者、観光協会、商店会
155	バス停留所	形状	屋根付き空き家での待ち時間のお茶出し	空き家利用・おもてなし	バス事業者・商店会空き店舗

No	活用物(大)	活用物(詳)	仕組み	特徴	関係者
156	バス停留所	形状	プランターやベンチを置く	自由なおしゃべり・心安らぐ	バス事業者・商店会空き店舗・地権者
157	バス停留所	形状	好みに書き込める掲示板の設置	停留所での掲示板設置	バス事業者・屋根付き停留所
158	バス停留所	掲示	簡易路線地図を掲示する(近くに何があるか、どっちの方に進むか分かりやすくする「観光客向け」)	分かりやすさ、おもてなし	バス事業者
159	バス停留所	掲示	バスの路線図をわかりやすくする、広域で遠く会社の路線図も1つにまとめてわかりやすく使いやすくする	乗車ハードルの低減	バス事業者
160	バス停留所	掲示	自転車ロードマップやウォーキングコースマップを掲示して、二停留所くらいをウォーキング誘導「次のバス停まで〇分とか」	健康施策との融合	バス事業者、観光協会、商店会
161	バス停留所	掲示	地域の掲示板としての機能を追加	地域貢献、情報提供、地域のPR、愛着	バス事業者、地区、市民団体
162	バス停留所	掲示	地域の注目ポイントをPR出来るバス停(近くの景勝地、歴史物件、お店など)	地域のPR、愛着	バス事業者、地区、市民団体
163	バス停留所	場所	バス停近くでトイレのある商店を紹介、バス停・商店・トイレのコラボ	商店利用の切っ掛けづくり	バス事業者、商店会
164	バス停留所	位置	広告付きベンチの設置	そのバス停の近隣に何があるか、その近くで何が行われるかなど情報スポットとして活用。	バス事業者、観光協会、商店会
165	バス停留所	掲示	バス停に主な目的地への乗り方を掲載し、わかるようにして欲しい。	バス利用環境の向上	バス事業者
166	バス停留所	場所	バス停をスーパー敷地内や病院玄関前に		バス事業者
167	バス停留所	場所	近隣の商店などにバス待ちスペースの確保、店舗を利用してもらう	商店利用の切っ掛けづくり	バス事業者、商店会
168	バス停留所	場所	バス停の屋根で発電、蓄電してデジタルサイネージやWiFiスポット化	利便性の向上	バス事業者
169	バス停留所	場所	バス停のベンチの個人寄附(名前、記念日、人生の節目寄附)	郷土愛育成	バス事業者
170	バス停留所	場所	バス停をオープンオフィス、リモートオフィス		バス事業者
171	バス停留所	名称	地名だとその地域の人しか分からないので、街中では、近くの商店の名前(広告料?)、郊外では景勝地などの名前を使った名称にしてはどうか	バス停の位置の分かりやすさ、周辺環境の周知	バス事業者、観光協会、商店会
172	バス停留所	名称	市役所に行くバス停にバス停の名前を付けて	バス停に対する興味の誘導	バス事業者
173	バス停留所	名称	停留所の名前の変更、MAXバリュー横など、企業名を用いて広告収入を上げる	収益向上	バス事業者、観光協会、商店会

No	活用物(大)	活用物(詳)	仕組み	特徴	関係者
174	バス停留所	名称	商店会内での停留所は、店のことを考えて店の前を外していると思われるが、商店前に変えていただく。	愛着、バス停の名称が商店名になりPRにつながる	バス事業所、商店
175	バス停留所	連携	会社の垣根を越えてパーク&ライドを実現。	おもてなし	バス事業者・企業
176	運転手	紹介コーナー	広報するので、バスやタクシーの運転手さんを紹介できるようなコーナーを作る(今も「人」のコーナーがあるね)。「あなたのそばで、頑張ってます」みたいな?	愛着	バス事業者
177	運転手	表彰	親切運動(安全運転含む)に取り組む方を市民に推薦してもらい表彰	愛着	バス事業者、市民投稿
178	社会貢献	料金	障害を持つ隣人をバスで病院・買い物などに随行する人は料金無料	いきがい・地域の絆・病院利用者の利便性・商店の活性化	バス事業者、商店、病院、市民、行政
179	添乗員	ガイド	観光ボランティアガイドを募集し、乗車させバス車内で観光案内、観光ルート図配布、バス時刻表配布	観光振興と市民のいきがい創出、バス利用者の増加	市民・観光協会・行政・バス事業者
180	添乗員	ガイド	路線バスの観光化(バスガイドをつける)	愛着	バス事業者
181	添乗員	ガイド	半日バスガイドさん(子ども達が地域の良い所を伝える)	愛着、バスの乗車を目的化、子どもの活躍を見に来る	バス事業者、学校
182	添乗員	ガイド	病院、スーパー、商店、観光地など分野別にアイウエオ順に掲載し、最寄りのバス停と距離、マップの位置などの情報を示す。ガイドは商店などの広告を載せ広告料で賄う。	行き先、目的にあったバス停が分かり、利用しやすくなる。誘客につながる	商店、病院、観光協会
183	添乗員	ボランティア	傾聴をしてくれる人がバスにのり、お話を聞く	傾聴バス、人との繋がり、バスの乗車を目的化	バス事業者、市民団体、福祉施設
184	お得	お子様特典	子供は乗車するとガチャができるバス(お菓子やシールがもらえる)	バスの乗車体験・バスへの愛着	バス事業者・観光協会等
185	お得	お得	月1000円くらいで、一月何回でもどこでも乗り降り自由な定額チケットがあると便利です。使いやすく小銭の用意などに気を取られないのはメリットだと思います。	定額制の導入による利用者の増加	バス事業者・行政
186	お得	お得・利用者の増加	バスに乗るきっかけとして、高校生以下無料dayや〇〇地区無料デイなど、スペシャルデイを作る(話のネタになる)	無料の日による利用促進・利用者の増加	バス事業者
187	お得	お得・利用者の増加	バスに慣れてもらうために、バス無料の日を作る。	利用啓発による利用者の増加	バス事業者
188	お得	ポイント	市内のお店で使えるポイントの付与(乗車ポイントやpaypy)。ポイント還元で結果的に割安	バス利用者の増加と商業振興	商店
189	お得	割引	スタバやドトール、コンビニと協賛して、コーヒーやスイーツ、アイスが安く購入できる仕組み	お得感でバス利用者の増加	商店

No	活用物(大)	活用物(詳)	仕組み	特徴	関係者
190	お得	利用のきっかけ、利用者の増加	現在実施している施策(バス・タクシー助成券)の予算を使って、市内在住の希望者に無料乗車券を配布してバス利用のきっかけを促す	無料券の配布による利用者の増加	バス事業者・行政
191	お得	利用者の増加	乗ったバス停分だけペイペイや電子マネーのポイントがつく。(一乗車券にポイントをつけるが、定期券購入者には高いポイントをつける)	お得感でバス利用者の増加	バス事業者・行政
192	お得	利用者の増加		お得感でバス利用8さ	バス事業者・行政
193	お得	利用誘導	80歳以上の高齢者に一定期間無料バス(市内限定)を発行して、免許返納を誘導しながらバス乗車を推進する(横浜市で事例あり)	免許返納と合わせたバスの利用誘導	バス事業者・行政
194	その他	自動車の利用制限	自動車の利用を制限する活動も良いのではないのでしょうか?カーボンニュートラルを目的として、自動車を使わない日を推奨するなど、会社通勤での協力も呼びかけると良いかも	カーボンニュートラルの実現	企業
195	その他	利便性向上	企業バスに一般が乗降できるようにする(停留所は限定、料金はもらうけど、電車の特急のイメージになる)	企業バスを利用した新たな交通手段	企業
196	その他	利便性向上	企業送迎バスを一般で利用できるようにすれば、一般の朝の便を無くして、他の時間に使える。(一般が使える本数が増える)	企業バスを利用した新たな交通手段	企業
197	その他	利用誘導	市役所職員の車両通勤をバス通勤に変更する(カーボンニュートラル、職員終業時間の推進)	カーボンニュートラルの実現・車からバスへの転換	行政
198	バスダイヤ	利便性向上	近くにバス停がないので、利用したくても利用できない。まずはバス停を増やす。また赤字覚悟で線を増やすのはどうでしょうか。	便数増によるバス利用者の増加	バス事業者
199	バスダイヤ	利便性向上	1時間に2本くらいあれば助かる。	便数増によるバス利用者の増加	バス事業者
200	バスダイヤ	利便性向上	時刻表を見なくて良い仕組みを作ってはどうか。時間毎に分が変わるのではなく、時間は異なっても「分」一緒の時刻表(例えば9時、12時、15時、17時と時間は違っても10分と40分は決まっているようなかんじ)	バス時刻表の明確化	
201	バスダイヤ	利便性向上	富岡中学生で自転車通学しているのは2名。ほとんどが自家用車の迎えに頼っている。部活終わりは、バス停から自宅までの暗がりに不安を持っている人も多いので、部活終わりに合わせた帰宅スクールバスを用意すれば乗車率が高くなると思う。	自家用車送迎の利用者をバス利用に。	バス事業者
202	バスダイヤ	利便性向上	裾野駅、岩波駅の発着時間と路線バスの時間があっていないのではないかと?雨の日にはバスがなくて助かったと思ったことがない。	JRとバスダイヤの接続による利用者の増加	バス事業者
203	バスダイヤ	利便性向上	運行頻度は大事なので、少なくとも30分に1本は運行頻度は欲しい	便数増によるバス利用者の増加	バス事業者
204	バスダイヤ	利便性向上・補助金	本数が少なすぎる。ある点からある点までのI(アイ)線を1本とカウントしないで、ある地域とある地域をU(ユー)線を1本とカウントするような補助にはならないのか?そうすれば本数は倍になるように思うが	便数増によるバス利用者の増加 補助金対象の拡大	バス事業者・行政

No	活用物(大)	活用物(詳)	仕組み	特徴	関係者
205	バスダイヤ	利用者の増加	「雨の日便」「雨の日割」を作る。雨の日は自転車や歩行者が少ない代わりに道路の渋滞がひどくなる。車で送迎していることになる。雨特別便を安く出せば乗るのではないかな？	渋滞緩和・利用者の増加	バス事業者
206	バスダイヤ・バス停	利便性向上	通勤、通学、聖通いに適した運行時間の実現。及び、幹線道路を避けた、住宅過密地区へのバス停設置。	バスルート・ダイヤ検討による利用者の増加	バス事業者
207	バスマップ	観光地とのコラボによる利便性向上	観光パンフレットに富士急としての電話番号が記載されているが、肝心のバスルートの記載がないため使えない(電話するくらいならタクシーを呼ぶ)	観光地との連携によるバス利用者の増加	バス事業者
208	バスマップ・バスダイヤ	バス路線・時刻表の明確化	ネットでバスの路線図や時刻表を分かりやすくする。富士急行バスの路線図でも御殿場駅起点の路線は見やすいが、三島駅や裾野駅を起点とするものは分かりにくい。目的地周辺にバス停がなかったり、時間が合わずタクシーを使うことになる。本数が少なく不便だと思っている	バス路線図や時刻表のわかりやすさによる利便性の向上	バス事業者
209	バスルート	ニーズ調査によるバス利用者の把握	利用者利用ルートの分析をしっかりとやった方が良い。ニーズと時刻やルートが、バス会社の「想定でしか行っていない」のではないだろうか？便利だったら維持費の高い自家用車を手放すこともできるが、不便だからわざわざ高価な車を購入している。	ニーズ調査・分析によるバス利用者の増加	バス事業者
210	バスルート	観光地とのコラボによる利便性向上	最終点を観光拠点(サファリ、イエディ、ぐりんぼ)とする路線が少ない。(夏期を除くと1日に2本しかない)	観光地との連携によるバス利用者の増加	バス事業者
211	バスルート	新たなバスルート	塚尻峠から箱根方面に向けたバスがあれば最高に便利。(道が狭いところはワゴンでもいいと思う)	新たなバスルートによるバス利用者の増加	バス事業者
212	バスルート	利便性向上	現在のルートは、病院や商業施設に沿ったルートのように感じますが、学校や会社(企業)のそばを通るルートを作ってはどうか？	ルート検討による利用者の増加	バス事業者・企業・学校
213	バスルート	利便性向上	企業周辺や住宅・寮の周りにも時間指定でバスを走らせる(通学にも活用できる)	(トヨタの新入社員は1年間車通勤はできないと聞いたことがある。ターゲットを絞って朝夕運行しても良い)ルート検討による利用者の増加	バス事業者
214	バスルート	利便性向上	三島駅の新幹線通勤で利用する人にターゲットを置いた路線を作れば乗るのではないかな。御殿場線利用のために沼津で乗り換えること自体が非効率だと感じている人は多い。	バスルート検討による利用者の増加	バス事業者
215	バスルート	利便性向上	居酒屋からの行き帰りに困らない、居酒屋回遊バス	居酒屋回遊バス	バス事業者
216	バスルート・お得	お得・利用者の増加	(春・夏は各種地域のお祭りの利用券など)特典がある方が良	バスに乗るようになる仕組み(イベントバス)	バス事業者・観光協会等
217	バスルート・お得	観光	裾野名所巡り専用の乗車券を準備し、名所等ではドリンク一杯無料などサービスをつける。	バスによる観光とお得サービスのコラボ	バス事業者・観光協会等
218	バスルート・バスダイヤ	利便性向上	通勤・通学時間帯の住宅団地と駅を結ぶ路線を考えてはどうか	バスルート・ダイヤの検討による利用者の増加	バス事業者

No	活用物(大)	活用物(詳)	仕組み	特徴	関係者
219	バス車両	掲示	富士急さんに協力してもらわなければ、どうしてもこの事業は進められないのでしょうか。現在使っているバスでは大きい様な気がします。小型のマイクロバスがそれ以下の物で充分な様な気がします。利用者も少ないです。それで運転手は市が募集するか市の職員が行う方がいい様に感じます。市内の志路事などもバスをやっているのがアウトソーシングの様な形で振っても良いかと思えます。後、現在、富士急カラーでのバスを運行させていますが、すそのんなどをあしらったデザインのラッピング車にして欲しいです。富士急カラーだと紛らわしく、やはり裾野の循環バスだから裾野カラーで差別化してもらいたいです。以前のすその一の様に。	愛着のある乗となるバス(ラッピングバス)	バス事業者
220	バス車両(支払い)	利便性向上	清算手段にEdyも使える様にしたい	バス料金の支払い手段の多様化による利便性の向上	バス事業者
221	バス車両(車体)	掲示	一般路線のバスのラッピング募集	他のバス路線との差別化	バス事業者・企業
222	バス車両(車内)	イベント	特定日を設けて、バスの中でのイベントを実施する	バスに乗るようになる仕組み(イベントバス)	バス事業者
223	バス車両(車内)	バスに乗る楽しみ	バスの中にテレビモニターを設置して、人気のアニメなどを流す(間に広告を入れられるようにして広告料ももらう)	バスに乗車中の楽しみにより利用者の増加(映像のみれるバス)	バス事業者
224	バス車両(車内)	楽しみ・愛着	学生対象バスガイドチャレンジ	学生バスガイド	バス事業者・学生
225	バス車両(車内)	掲示・収益の手法	バスの中に広告を入れる。	収益を増やすための方法	バス事業者・企業
226	バス車両(車内)	利便性向上	車内Wi-Fiを整備して、YouTubeなどを無料で見られるようにする。Eスポーツなどにも使える	バス車内のネットワーク環境整備による利用者の増加(ネットワークバス)	バス事業者
227	バス車両(車内)	利用者の増加・お得・楽しみ	バスに幼児・児童の絵を飾り、見に来た方に対して、運転手がスタンプを押す。展覧会ごとにスタンプ用紙は準備して、期間限定で飲食店での割引や小さな一品プレゼントをしよう	子供を巻き込んだバス利用者の増加	バス事業者・学校
228	バス車両(車内)	利用者の増加・楽しみ	夜は電気を消してプラネタリウムみたく天井が光る。	バスに乗るようになる仕組み(プラネタリウムバス)	バス事業者
229	バス車両(車内)	利用者の増加・楽しみ	子どもたちの絵を展示する。子供の絵を見た親子、祖父や母や地域の方がバスに乗りながら絵を楽しんで貰う。	子供を巻き込んだバス利用者の増加	バス事業者・学校
230	バス車両(車内)・お得	利用者の増加・楽しみ	バスのなかで本が借りられる、図書館バス。	車内での本の貸し出しによる図書館バス	バス事業者・行政
231	バス車両(車内・車体)	掲示	広告バスを田舎でやっても宣伝効果は薄い。首都圏などで見られるような綺麗でおしゃれな仕掛けをすれば興味を持ってもらえると思う。	他のバスとの差別化による乗車しなくなる仕組み	バス事業者
232	バス車両(車内・車体)	掲示	伊豆箱根鉄道&ラブリブのようにバス内外観にコラボ装飾を施す	他のバス路線との差別化	バス事業者
233	バス停	バスに乗る楽しみ	バスタンプラリーの開催。山手線のポケモンのように、バス停留所またはバスに乗ればスタンプをゲットできる仕組み。バス停によってスタンプの種類が異なっていて、制覇すると特典を出す感じ。	楽しみながらバス利用者の増加	バス事業者

No	活用物(大)	活用物(詳)	仕組み	特徴	関係者
234	バス停	利便性向上	バスへの乗降を、バス停だけでなく、ルート上の任意の場所で可能にしてはどうか	どこでも乗降できることで利便性向上	バス事業者
235	バス停	利便性向上	運行経路上の任意の場所で乗降が出来る	どこでも乗降できることで利便性向上	バス事業者
236	バス停・アプリ	利便性向上	発着時刻がずれやすいため、今どこを走っているかをアプリでわかるようにしたり、バス停モニターでわかるようにする。	バスの現在地がわかることによる利便性向上	バス事業者
237	バス停・バスツアー	バスに乗る楽しみ	バス停留所に馴染んでもらうために、ミステリーツアーやお花見バス(車中で飲み食い)、市内工場見学ツアーなどを企画して、乗降は既存のバス停に設定する(バス停に人が並んでいるのを見て興味が湧かず)	バスツアー・車内の企画による利用者の増加(ツアーバス)	バス事業者・企業等
238	バス停・モニター	利便性向上	バス停にモニターをつけて、待っている人が見れるようにする(バスの位置、広告、セール情報など)	バスの現在地がわかることによる利便性向上	バス事業者

第1回WS： 3枚 (10人)

第2回WS： 6枚 (12人)

第3回WS： 8枚 (15人)

参加WS	地区	年代	矛先	大分類	意見詳細
第1回	西	50代	バスに乗ろう会	他市町の事例紹介に対し	財政非常事態宣言を出している中で比較しても悲しくなる。今の裾野市で可能なことに絞って考える必要がある。
第1回	西	50代	バスに乗ろう会	他市町の事例紹介に対し	裾野市で応用できそうな事例がなかったように思う。裾野市でも応用可能なものを提示した方が良いのではないか。
第1回	西	50代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	遅きに失していると思われ、それでも公共交通に対して施策反映を視野に活動していることはありがたい。
第1回	東	60代	バスに乗ろう会	公共交通への考え方	バスの増便や維持も重要だが、福祉的発想の移動サービスの利用が必要ではないか。
第1回	東	60代	行政	施策対象	バス利用の拡充とともに、バスを利用しにくい人々への支援も考えてほしい
第1回	富岡	70代	バス事業者	バスの本数	乗りたい時間にバスがなくて利用しにくくていい。1時間に1本の運行がないのが現状 (9:40頃の次は11:36になってしま)
第1回	富岡	70代	バス事業者	バスの時刻	御殿場線が裾野駅に着いたときに乗れるバスがない (益々バスを利用しなくなる。当てにならないから)
第1回	富岡	70代	行政	補助	タクシーを利用するも、市の補助は、1回に二百円しか使用できない。
第1回	富岡	70代	行政	補助	裾野市は財政が厳しいようですが、(減らす方ばかり合わせるのはなく) 近隣市町に足並みを揃えてください
第2回	東	60代	議会ワークショップ	活動 (感想)	今回はバスがテーマですが、他のテーマでもこの様な市議会議員と市民とのワークショップの機会があると良いと思います。
第2回	富岡	40代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	楽しいワークショップができました
第2回	富岡	40代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	多くのバスの利用者が出る様これからはよろしくお願いします。
第2回	富岡	40代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	次回も楽しみにしています
第2回	西	50代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	バスの利便性向上が必要ですね
第2回	西	50代	バスに乗ろう会	施策対象	現在バスを利用していない市民の方を取り込む工夫が必要ですね。
第2回	西	50代	バス事業者	バスルート	新幹線 (三島駅) との接続強化と併せて時間帯も向上させるように取り組んでほしいと思います。
第2回	西	50代	バス事業者	バスの運行方法	市内にパーキングを設けて、シャトルバスで運行する方法もあります。
第2回	西	70代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	市民の皆様は移動手段を心配される議員の方々の熱意に感謝を受けました。今後よろしくお願ひいたします。
第2回	三島市	60代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	様々なアイデアが出て良かったと思います。
第2回	三島市	60代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	これからこのアイデアをどう実現するか、できるのかが重要だと思います。できないということは簡単ですので、ぜひよく検討してオープンにしてほしいです。
第2回	三島市	60代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	もっと市民の参加人数を増やす工夫も必要だと思います。
第2回	西	50代	バス事業者	バス本体の活用	バスに対してのラッピングやネーミングライツを検討すると良いと思います。
第2回	西	50代	バス事業者	バスの大きさ	バス利用状況に合わせて、そのルートのバスの小型化も検討してほしいと思います。
第2回	西	50代	行政	施策対象	交通難民をなくすことを第一に考えてほしいです。
第2回	西	50代	バス事業者	空白地帯の解消	旧246水窪方面の方が「バスが走っていないので通ってほしい」と伝言を頼まれました
第3回	深良	60代	参加者自身	バス利用の考え方	藤井教授の「子供の頃にバス乗車の経験がないのに大人になって乗ることは考えにくい」「行政だけに頼るのではなく、地区でできることについても考えた方が良い」という意見はもっともだし、そうして行かなければと思います。
第3回	富岡	40代	参加者自身	活動 (感想)	公共交通について深く考えることができました。
第3回	富岡	40代	バスに乗ろう会	提言について	議員と一緒に意見を出し合った結果が、市民の皆さんがとても満足できるバス路線・バス運行になることに期待しております。
第3回	富岡	40代	行政	施策	観光や通勤などの利用にもバスが使われることで、乗客がプラスになり、交通弱者や住民にその恩恵が戻ってくる仕組みにならざるに良いと感じた。
第3回	三島	60代	バスに乗ろう会	提言について	これまでの活動の結果が、参加関係者のみならずみんなに見えるようにして欲しい
第3回	三島	60代	バスに乗ろう会	提言について	提案した結果が、どのようにになったかアウタンスしてほしい (WSのやりっぱなしとならないようにしてください)
第3回	富岡	70代	行政	施策対象	住民運行によるコミュニティバスが走れるよう、全体で支援をお願いします。
第3回	東	60代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	毎回楽しく参加させてくださいました。
第3回	東	60代	バスに乗ろう会	提言について	この活動の成果がどのような形になるかを確認したいと思います。
第3回	東	60代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	今日のテーマは「買い物・通院」でしたが、最も差し迫ったテーマでした。予算の問題はありますが人が生活することが前提ですのでなんとかクリアしていきたいですね。
第3回	西	40代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	現役世代の市民の意見が少ないのが残念だと思います。
第3回	西	40代	参加者自身	バス利用の考え方	今は自家用車中心の生活をしている世代が、免許返納などの生活をどうイメージしているか知りたいところです。
第3回	西	40代	参加者自身	バス利用の考え方	7/25国から「R地方路線で輸送密度1,000人未満の区間対象に競技を」との報道があり、全国的な人口減少の中、公共交通のあり方そのものについても考え方を柔軟にして行かなくてはならないと改めて思いました。
第3回	西	40代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	バスに乗ろう会の皆様、このような機会を設けていただきありがとうございます。
第3回	深良	70代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	初めて参加しました。いろいろな意見を聞き、難しい中にも希望を感じることができました。検討を重ねてより具体的に良い方法を考えていただきたいと思っています。
第3回	西	70代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	ワークショップの意見をもとにして具体的なものが身を結ぶよう願っています。
第3回	西	70代	バスに乗ろう会	活動 (感想)	議員の皆様、参加された市民の皆様は感謝を申し上げます。